

◆日本共産党の見解を紹介します。  
<http://toride.jcpweb.net>  
 メール [jcp.toride@blue.ocn.ne.jp](mailto:jcp.toride@blue.ocn.ne.jp)  
 ◆ご意見、ご要望をお寄せください。

# 明るい取手

2012年5月27日(日)  
 発行:日本共産党取手市委員会  
 取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を  
 ■高木晶市委員長/TEL:74-2004  
 ■加増みつ子市議/TEL:74-8154  
 ■遠山ちえ子市議/TEL:83-8290  
 ■鈴木きよし市議/TEL:74-8160  
 ■関戸 勇市議/TEL:78-0500

## 取手市でも内部被ばく検査の手立てを急げ

### 牛久市が市民の内部被ばく検査実施へ

#### 取手市の対応は県まかせ…

取手市の内部被ばく検査に対するこれまでの対応はどうでしょう。

市民グループや日本共産党は、取手市に対しホールボディカウンターでの検査を再三にわたって強く要望してきました。

取手市の回答は、「1市町村のみが行うのではなく、広域的な視点から県単位で実施することが適切なものと考えており、茨城県民を対象とした実施対応を茨城県に要望している」というものです。

県内で一番高い放射線量が続けている取手市が「ひとまかせ」では困ったものです。

取手市の決断が迫られています。

取手市の場合、「市の特別措置法に基づき、取手市除染実施計画を策定し対策を推進します」と、国の決めたガイドラインの枠内にとどまっています。取手市は、市民の意見をもっと聞くべきです。

取手市とは  
 こんなに  
 違う

「取手駅西口開発」を考える  
 シリーズ①(裏面)

ので、法人が設置するホールボディカウンターで検査されます。実施期間は7月7日～12月22日とし、対象は市内には4歳から中学3年生までの希望者で無料(そのほかの人は通常料金の半額の6000円の自己負担で検査できる)。

牛久市の対象の子どもは約8350人で、まず約4割の3500人分を予約したとのこと。1日100人から130人の検査が可能で、セシウム134と137を中心に内部被ばく量を測定するとしています。

柏市の除染実施計画策定にあたっての基本的な考え方のなかで、市民の声を踏まえたものとして、次のように述べています。

特別措置法に基づく国の財政措置に該当しないものであっても、市民の意見も踏まえて市が決定する除染や被ばく低減対策に係る必要な費用については、東京電力株式会社に求めていくとともに、国に対してはさらなる支援の拡充が図られるよう引き続き要請していきます。

### 日本共産党地方議員団 柏市の行政視察を実施



5月18日、茨城県南の日本共産党地方議員団ら19名は、放射能汚染対策を国だけにたよらず、住民運動の高まりの中で市民の声を取り入れ、市独自の施策も交えて取り組んでいる柏市を訪ね、柏市の担当課長らと懇談しました。取手からは、加増、遠山、鈴木、関戸各市議が参加。

### 柏市、我孫子市、野田市、流山市の除染計画などをみてみると

- 除染目標…柏市、我孫子市、野田市、流山市  
 小中学校、保育園、幼稚園など子どもも多く利用する施設は、市独自の追加目標として、地上5センチメートルでも放射線量を毎時0.23マイクロシーベルト以下。(取手市は、地上50センチメートル…国基準)
- 除染範囲…柏市、我孫子市、野田市、流山市  
 市内全域。(取手市は、毎時0.23マイクロシーベルト以上の区域)
- パブリックコメント実施…柏市、我孫子市、野田市、流山市  
 除染実施計画についての市民の意見を聞くパブリックコメントを実施。(取手市は、パブリックコメント実施せず)
- ホールボディカウンターによる内部被ばく検査…我孫子市  
 妊婦、幼児、小学生、中学生は測定費用を助成/一人につき3000円。生活保護受給世帯、市民税非課税世帯は6000円。(取手市は、助成制度なし。計画もなし)
- 民有地の除染…流山市  
 4月2日から除染に向けた各住宅地の測定開始、測定希望の申し込みは6月8日までとしている。(取手市は、除染実施設計書を12月までにつくるとしている。除染開始は来年に…)
- 東電への請求/放射能対策に要した費用…流山市  
 第1次/1億2千万円、第2次/1億6千万円、第3次/約2億円(取手市は、これまで8107万円を請求)

一人で悩まずに お電話を  
 生活相談・労働相談 電話 72-7816

弁護士無料法律相談 電話72-7816  
 6月16日(土)午後2時～4時



# 「取手駅西口開発」を考える

シリーズ

①

## 西口第一次開発 「東急ビル」



繰り返した駅前開発の失敗。これらの反省もなく、市民不在で進む「ウェルネス・タウン取手市の創造」構想。そして公有地売却への消えない疑惑…。市民の圧倒的な願いは「旧東急ビル」の再開。改めて取手駅西口開発について考えてみましょう。

ご意見をお聞かせください。

「東急ビル」は、駅西口第一次開発・第一種再開事業として、取手市が取手駅西口デッキ等とともに、1985年に完成したものです。以来、「とうきゅうストア」は、取手市民の買い物の中心的な施設としての役割を担ってきました。

## 駅前の元気をとりにどすに欠かせない東急ビル再開

### そもそも取手市施行の開発事業

旧東急ビルは、そもそも取手市が西口デッキ等と合わせ約100億円（東急ビルに49億円）かけて行った再開事業です。

旧東急ビルは、現在、所有権は民間（複数以上）にあります。市の再開事業で商業施設と位置付けて建設したものです。したがって、買い物の便利さを取り戻すことと合わせて、取手市の商工振興を図るためにも、旧東急ビルを再開させることは、取手市の責任でもあります。

### 東急ビル未だ先行き不透明

駅東口側の「片倉ショッピング」閉店に続き、「とうきゅうストア」が閉店して早くも2年が経過。買い物が便利はずの駅前が不便なところとなってしまいました。多くの市民から旧東急ビルの再開が強く求められています。再開の動きはみえません。

### 市民も議会も商業ビル再開求める

地権者のみなさんは、「とうきゅうストア」撤退表明以来、新たなテナント導入に懸命な努力を行い、取手市に対しても繰り返し再開のための支援要請を行っています。議会も「取手市の支援を求める請願」を採択（平成23年7月臨時議会）。しかし、取手市は「ビル」再開には消極的です。

### 駅前に必要な公共施設は「旧東急ビル」活用で

取手市が、「駅西口は商業施設を中心に」とした取手市のまちづくりを進めるための最上位計画・総合計画（基本構想）に違反して、談合疑惑の中、進められている「ウェルネス・タウン構想」に対し、「駅前に必要な公共施設であれば、旧東急ビルの活用で、商業施設の再開も可能では」との声もあります。

このことは、地権者の取手市への要望でもあります。駅前に市民ニーズもない「新開発計画」より旧東急ビル再開を優先することが、多くの市民の切実な願いです。

## 地域の商店街も大変

### 地場優先の商工振興策を

駅周辺だけでなく大型店撤退と空きビルの増加で、商店街の多くは、シャッター通りに…。残念ながら、取手市の地域経済振興策は、大規模な企業誘致型で市内中小企業は、ほとんど対象外です。本年度スタートした「空き店舗活用事業」の予算はわずか220万円と地域経済振興策は極めてお粗末なものです。

固定資産税減免・テナント料補助制度の創設等、旧東急ビル再開、空きビル・空き店舗再生へ、商工支援策拡充が求められています。

次号以降では、西口第二次開発＝「取手駅北土地区画整理事業」、「芸術の杜構想」から「ウェルネス・タウン構想へ」、「ウェルネス・タウン構想」＝C街区・医療モール建設、B街区・ウェルネスプラザ、取手駅東西自由通路計画等と続きます。

## 市議会主催の議会報告会開催



5月12日、議会改革の一環として始まった市議全員による議会報告会が議会棟大会議室で開かれ、市民約20名が参加しました。3月定例議会についての議会報告号「ひびき」をもとに報告。報告の後、市民から出され質問や意見に対し、議員から回答がなされました。

会場から、「東急ビルを何とかして」「ウェルネス・タウン構想、知らないところで決められている。新聞からの情報ではじめて知る…。野々井中売却も同じ。決められる段階での情報発信を」「ウェルネス・タウン構想で100条委員会設置で議論されれば、よくわかったかも、でも設置は否決された」等の意見が出されました。また、議会報告会そのものの在り方を問う意見も出されました。

日本共産党市議団は、議会のたびに、各議員が後援会、党支部と力を合わせて、それぞれの地域で議会報告会を開催しています。3月定例市議会報告会は、すでに、取手市全体対象、東地域、新町・中央タウン地域、藤代地域で開催。西地域は5月27日に開催の予定です。

「原発ゼロの日本」  
「消費税にたよらない別の道がある」…

## 日本共産党演説会

志位和夫委員長がお話し  
します

7月1日(日)午後2時開会  
つくば国際会議場

取手から貸し切りバスを出す予定です。

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月3,400円  
日曜版●月800円

お申込みは  
日本共産党取手市委員会まで  
電話 297-72-7816

「明るい取手」を折り込みします。

いま言いたい2012

消費税、原発、復興、TPP、維新…。政治が激動しています。

「赤旗」は「いま言いたい」と題して、各界で活躍する方がたに、政治や社会にたいする思いを語ってもらうシリーズなどを連載。日本共産党とは立場が違う方も含めて、さまざまな方が登場しています。